

東海道川崎宿起立四百年記念 TEL杯

11/11(土) 12(日) 13(月)

FII

GIRL'S KEIRIN

開催
デイ

川崎スポーツ



レース展望

11月11日から開催される川崎競輪はF2戦。このシリーズは日中に行われるデイ開催で、ガールズケイリンを含む12R制。

1、2班戦の主役は地元の巴直也(神奈川101期)で、現在は追い込み主体。近藤夏樹(千葉97期)と同乗できれば問題無いが、目標不在の時は自ら自力で戦うこともありそうだ。関東勢は金子哲大(埼玉95期)の機動力を中心に、ベテラン櫻井学(群馬84期)の自在脚にも魅力は十分。北日本

はやや戦力が手薄だが、自在な太田将成(宮城113期)や闘将明田春喜(北海道89期)らの奮起に期待。遠征勢は中近からのあっせん。堀兼壽(岐阜105期)と廣田敦士(三重107期)の両機動型が2枚看板。

チャレンジ戦はルーキーが4名参加。小笠原一真(青森123期)、石田典大(東京123期)、池邊聖(神奈川123期)、村上翔馬(兵庫123期)で、とくにホームバンクの池邊は地元初参戦で気合

も十分なはず。新人レーサーがシリーズを盛り上げてくれそうだ。

ガールズケイリンは実力ある選手が揃い激戦。追加参戦山原さくら(104期)が中心だが、パワー上位の尾方真生(福岡118期)や、先行技術高い石井貴子(東京104期)、強力なまくりを持つ村田奈穂(熊本116期)がシリーズの4強。それぞれ持ち味発揮すればVを狙える実力者。小倉競輪祭や立川GPを控えるこの時期だけに熾烈な戦いとなりそう。

脚力差が無くV争いは接戦!!

A級
主力選手



巴直也 神奈川101期

今期はA降級となった地元の巴直也。前期の終盤には自力を極力封印して追込みにスタイルをチェンジしつつあった。今期もほぼ自力の決まり手はなく、追込み選手として見るべきだが、南関の自力が少ない今シリーズは、自ら動いて出る場面も十分にありそうだ。

A級
主力選手



金子哲大 埼玉95期

今期からはA級となった金子哲大。S級時代から川崎の出走は多く、相性も悪くなかったが、バンクが改修されたことがどう出るか。A級戦でも守りに入ることはなく、積極的な走りも目立つ。まだまだしっかり長い距離を踏める機動力は魅力十分でV候補の一角。

A級
主力選手



堀兼壽 岐阜105期

S級でも時折ヒットを飛ばしていた堀兼壽だが今期A級での戦い。「流れのある9車の方が走り易いし7車は難しい」と話していたが、A級では力ずくの自力でも十分に戦える。バック数は減ったがまだ長い距離で勝負できる力はあるし遠征勢の先導役としてフル回転。

A級
注目選手

池邊聖

神奈川123期



今年7月にデビューを果たした池邊聖が地元ホームで初参戦。社会人として安定していた池邊だが、同世代の青野将大や小林泰生らの影響で、刺激を求めこの世界に。まだ成績にばらつきはあるが、レースで強力な地脚を発揮し始めればまだまだ伸びしろは十分。

ガールズ
注目選手

山原さくら

高知104期



今開催は追加参戦となったが、11月3日からの向日町を走り終えたあとになるだけに、調子や調整には問題無いだろう。ガールズグランプリ出場に向けて、現在賞金ランキング8位(10月25日)に付けているだけに、賞金の上積みを狙って目指すは3連勝完全Vだけだ。

対馬太陽神奈川選手会支部長に聞く川崎新バンクガイド



対馬太陽選手
(神奈川85期)

バンクやスタンドの改修が行われた川崎バンクは、かなり特徴に変化が見られそう。ホームバンクの南関東地区本部長でもある対馬太陽選手(神奈川85期)に聞くと「バンクがきれいになり、走路のガタツキが取れて、クセも無くなり走りやすくなった。あとはホームの向かい風が少し強く感じるようになった気がします」と話す。同じ南関東地区なら、平塚や静岡競輪場に近付いたイメージで最初は予想してみたい。

競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル